

事務事業評価シート(事後評価)

事務事業名	水道施設維持管理事業(高田・本郷)				担当課名	上下水道課
政策名	四季に輝くやすらぎのまち				担当係名	上水道係
施策名	上下水道の整備				課長等名	小林英光
施策細項目名	安全で良質な水の安定供給と健全経営				担当者名	浅野昌敏・阿部勝裕
予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用	項	営業費用
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	開始年度	平成	17	年度から	
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度			年度から	年度まで
法令根拠、条例等						
事務事業の概要	事務事業の内容	各配水施設を定期的に点検、修理し安定した水の供給を図っている。				
	業務の内容 (職員が行っている内容)	各施設の運転状況を定期的に点検し、安定した水の供給を確認。・修理が必要な箇所については業者に修理を依頼し修理の確認。 各施設の保守点検委託の設計、発注、点検状況の確認。・末端給水柱の残留塩素の濃度を確認し塩素注入量の調整。				
	事業費の費目	委託料、修繕費、薬品費				
	これまで行ってきた改革改善内容	高田地域の各水道施設の集中監視装置の整備を実施				

1、現状把握の部(DO)

(1)事務事業の目的と指標

手段(主な活動)	定期的に各施設の点検 ・保守点検委託 各施設を年1回点検調整 各施設の点検に伴う修理
対象(誰、何を)	・上水道配水施設
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	・施設を適切に維持管理が出来る。 ・異常箇所の早期発見、修理が出来る。
結果(どんな結果に結びついているのか)	・安全で質のよい安定した水の供給を確保する。

活動指標(活動を表す指標)	単位
ア 各施設の定期点検数	回
イ 各施設の破損箇所数	件
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
ア 上水道配水施設数	ヶ所
イ	
ウ	
成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
ア 施設修理件数	件
イ 施設修理に伴う断水戸数	戸
ウ	

(2)指標の推移

区分	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(目標)
活動指標	ア 回	86	134	124	120	
	イ 件	18	15	14	10	
	ウ					
対象指標	ア ヶ所	31	31	31	31	
	イ					
	ウ					
成果指標	ア 件	18	15	14	10	
	イ 戸	39		3		
	ウ					

(3)総事業費の推移

区分	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(目標)
事業費	特定財源					
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	9,969	9,586	9,742	9,660
事業費計	千円	9,969	9,586	9,742	9,660	

(4)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	安全な水を安定供給するため、水道事業給水開始時から始めた。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	施設の老朽化とともに修理が増えているので今後とも続けるべきである。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見が寄せられているか?	特になし

事務事業名	水道施設維持管理事業(高田・本郷)	担当課	上下水道課
-------	-------------------	-----	-------

2. 評価の部(SEE) 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	政策体系との整合性	この事務事業の意図は結果(政策体系)に結びついていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	安全、安心な水を安定して供給することに結びつく。
	公共関与の妥当性	なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を使って達成する目的ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	安全、安心な水を安定して供給するのに必要不可欠である。
	対象と意図の妥当性	対象と意図を見直す必要がありますか？対象と意図の範囲を拡大、縮小する必要がありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	老朽施設等の更新しても安全、安心な水を安定して供給するのに点検業務は必要不可欠である。
有効性評価	成果の向上余地	やり方や進め方を変えることで成果を向上させることができますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない <input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	1.施設の定期的な更新により点検回数の削減が可能である。
	廃止・休止の成果への影響	事務事業を廃止・休止した場合に影響はありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有り <input type="checkbox"/> 影響なし	理由	安全で安心な水を安定して供給することが不可能になり、水道に加入している住民や水道経営に影響を及ぼす。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	類似の目的や形態を持つ他の事務事業との統廃合や連携を行うことができますか？	<input type="checkbox"/> 他に手段があり、統廃合・連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段はあるが、統廃合・連携はできない	理由	類似事業はあるが、会計が別々のため統廃合・連携は不可能である。
効率性評価	事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減する方法はありますか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	安全、安心な水を安定して供給するのに点検、修理等は必要不可欠である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	やり方を工夫して延べ業務時間を削減する方法はありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	施設の定期的な修理・更新により点検回数の削減が可能である。
公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平になっていませんか？受益者負担を見直す必要はありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	全ての給水世帯への安全・安心・安定的な水の供給の観点から受益者負担の偏りはない。

3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1)1次評価者としての評価結果																							
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(2)今後の事業の方向性(改革改善案)		(3)改革改善による期待効果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性、有効性の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性、有効性の結果) <input type="checkbox"/> 目的再設定(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性の結果) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性の結果) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性、の結果) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	コスト																						
	削減	維持	増加																				
向上																							
維持																							
低下																							
評価に基づいた改革・改善案を記入します。																							
21年度の改革改善案		次年度以降の改革改善案																					
各水道施設の監視を集中して本郷にて監視できるよう、前年に引き続き整備していく。また、施設の点検修理を実施する。		各施設の点検により、交換や修繕が必要な箇所については早急に修理等を実施する。																					
(4)改革・改善(案)を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
21年度で集中監視の整備が完了するが、各施設の計装機器等の交換修理が年々多くなると思われるので年度整備計画をたて交換修理を実施する。																							

事務事業名	水道施設維持管理事業(高田・本郷)	担当課	上下水道課
-------	-------------------	-----	-------

4、事務事業の2次評価結果

(1) 2次評価者としての評価結果

目的妥当性 適切 見直し余地あり 有効性 適切 見直し余地あり
 効率性 適切 見直し余地あり 公平性 適切 見直し余地あり

(2) 評価結果の根拠と理由

集中監視システムが完備されることにより、断水等の住民に与える影響を少なくすることができるとともに、対応する職員の時間も削減され、事業費削減の余地がある。また、施設の機器等が老朽化しており、毎年修理が発生している状況であるため、解消する必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)

- 廃止(目的妥当性、有効性の結果) 休止(目的妥当性、有効性の結果)
 目的再設定(目的妥当性、の結果) 事業統廃合・連携(有効性の結果)
 事業のやり方改善(有効性の結果) 事業のやり方改善(効率性、の結果)
 事業のやり方改善(公平性の結果) 現状維持(従来通りで改革改善をしない)

(4) 改革改善による期待効果(廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加

評価に基づいた改革・改善案を記入します。

前年に引き続き集中監視システムの整備を進める。
老朽化している機器等については、年度整備計画を策定する。

成果	向上			
	維持			
	低下			

(5) その他2次評価会議で指摘された事項

定期点検は職員が行っているが、外部委託の検討も必要である。